

(5) 啓発活動

ア 「あいさいっ子相談室」の周知

- ・「あいさいっ子相談室」カードおよびリーフレットの作成、配布。

【配布方法】

- ・妊娠届出時、妊婦等に配布。施設巡回事業にて配布。
- ・子育て支援課及び各施設（子育て支援センター、児童館）窓口に設置。
- ・民生児童委員協議会定例会にて「あいさいっ子相談室」についてリーフレットを配布周知。
- ・広報あいさい2月号「あいさいっ子相談室」について掲載。
- ・愛西市小中学校校長会にて「あいさいっ子相談室」について周知。
- ・10か月児相談にて、児童館・子育て支援センター「あいさいっ子相談室」について周知。（令和4年4月生～）。

イ 子育て情報発信

- ・愛西市子育てアプリ「あいさいっ子応援ナビ」
登録者人数：1,573名（令和5年3月末現在）
- ・広報あいさい 子育てコラム～ほ・ほ・ほ～掲載
5月号

マスク生活の中での子育て “今、できること！”

マスク着用が推奨されて3年目。特に一歳までの子どもはいろいろな人の顔（目・鼻・口）やその動きを見て、表情を学びます。

ことわざで「目は口ほどにものを言う」と言われている通り、人間にとって目は重要なコミュニケーションツールです。たとえマスク生活で顔が半分見えなくても目の動きや眉の動きで表情は伝わるものです。

“コロナだからできない”とか“子どもの発達に悪影響”とかばかり考えて神経質になりすぎず、お母さん（家族）は笑顔で子どもと向き合い、抱きしめてあげてください。そうしていくことで自分は受け入れてくれているサインと感じ、子どもの心の安定・安心につながります。

<ポイント>

- 1 家族は積極的に子どもに“顔（表情）を見せましょう”
- 2 家族以外の近しい人は“マスク姿でも声をかけ、微笑みましょう”



7月号

マスク生活の中での子育て パート2 “今、できること！”

スーパーに行っても公園に行ってもマスクを着けている人がほとんどですよね。感染対策を考えると仕方ないことですが、みんながどんな顔をしているのか？どんな表情をしているのか？わかりにくくなっています。

子どもは、人と話している時の相手の表情をよく見えています。楽しい気持ちで笑っている時は、子どもも楽しい気持ちになります。マスクで口元全体を隠していることで相手の表情が、わかりにくくなっている今、上手に子どもに気持ちを伝えるにはどうしたらよいのでしょうか。

<マスク生活で気をつけること>

- 1 オーバーリアクションを取ること（ボディランゲージ）。
 - ・口元の代わりに目に力をこめたり、身振り手振りを活用したり、身体他の部分を使ってカバーすればコミュニケーションはとれます。
- 2 どんな気持ちかを積極的に伝えること。
 - ・「私は〇〇な気持ちです」というメッセージを積極的に伝えることが大切です。表情や気持ちを伝え合う機会を作り、心の距離を近づけていくことが愛着形成につながります。

